

「国史跡 鎌倉街道上道」検定は、初級・中級・上級にわかれています。このシートに○をつけて解答するか、QRコードを読みこむと検定にチャレンジすることができます。各2問とも正解すると正解スタンプがもらえます。正解スタンプを集めて上級をめざしてください。

●初級第1問

鎌倉街道上道は、できるだけ道を平らにするために、地面を掘りくぼめる土木工事をおこなってつくりました。この方法をなんというのでしょうか？

- 1 みぞ掘り 2 掘割 3 割堀

●初級第2問

鎌倉街道上道ぞいの、大類グラウンドの近くに大類諏訪台の庚申塔という石の塔があります。この石の塔にはある動物がほられています。何の動物でしょうか？

- 1 ねこ 2 犬 3 さる

●中級第1問

大類諏訪台の庚申塔は、地元の大類村（今は大字大類）のお寺と村の人々によって建てられました。

塔の下の方に、大類村のお寺の名前が彫られています。何と記されているのでしょうか？

- 1 玉林寺 2 善能寺 3 大葉寺

●中級第2問

「崇徳寺跡」の史跡では、中世のお墓の跡が見つかっています。中央の古墳の近くには高さ 3 m 以上もある「延慶の板碑」が建っていました。（現在は近くに移動されています）また、ここを発掘調査した結果、数多くの板碑が見つかりました。では、板碑には一番上の山の形の下に、「梵字」という記号のようなものが彫られています。これは何を表しているのでしょうか？記号は蓮の花の上に乗っています。

- 1 板碑の作者 2 仏様 3 地名

●上級第1問

今の「大類グラウンド」の場所には、鎌倉街道上道の宿場「苦林宿」のあと（堂山下遺跡）が地下に残されています。遺跡の調査では、日常の道具のほかに、中国大陸から運ばれた、青磁・白磁などのめずらしいやき物など、遠くはなれたところのやき物や石の道具が、大量に見つかりました。では、宿場はどんなところにつくられたのでしょうか？

- 1 道が川にぶつかる低いところ  
2 高いおかの上 3 道と道の交差点のところ

●上級第2問

毛呂山の鎌倉街道上道にそって、越辺川の手前にあった「苦林宿」という宿場の西側には「崇徳寺跡」という遺跡があり、鎌倉時代から室町時代までのお墓が見つかっています。では、「苦林宿」が始まった鎌倉時代、お寺にお墓がつけられるのはどのような人たちだったのでしょうか？

- 1 武士や僧侶 2 宿場に住んでいた人全員 3 子供

シートで解答する人は  
こちらをご記入ください

氏名

連絡先（メールなど）

検定日 年 月 日

2026  
初級 1・2 正解

2026  
中級 1・2 正解

2026  
上級 1・2 正解

QRコードを読みこんで  
回答もできます！



お問い合わせ

毛呂山町歴史民俗資料館



049-295-8282

住所

埼玉県入間郡毛呂山町大類535-1

E-mail rekisi@town.moroyama.lg.jp

※月曜日（祝日は開館）と祝日の翌日は休館です。

マスコットキャラクター制作協力

毛呂山町歴史民俗資料館

サポーター IKUE